

【予防接種の受け方】

●接種前

- ① 接種を受けようとする実施医療機関へ予約をしてください。
※接種日当日に八王子市に住民登録がある方が対象です。
- ② 接種日前日は入浴し、当日は健康状態を確認し清潔な衣服を着用してください。
- ③ 予診票を接種医療機関で受け取り、保護者が責任を持って記入・署名してください。

●接種後

- ① 母子健康手帳に記入された接種の記録の確認をしてください。
- ② 接種後30分程度は医療機関でお子さんの様子を観察するか、すぐに医師と連絡がとれるようにしてください。
- ③ 接種した部分は軽く押さえる程度にしてください。もむ必要はありません。
- ④ 接種当日は激しい運動を控えてください。入浴は差し支えありませんが、接種部位を強くこすらないでください。

【接種することができないお子さん】

- ① 発熱している。※37.5℃以上は接種できません。
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかである。
- ③ 麻疹（はしか）、風しん、水痘（みずぼうそう）またはおたふくかぜにかかり、治ってから4週間以上が経過していない、もしくはこれらに感染している確率が高い。
- ④ 生ワクチンを接種してから中27日以上経過していない。※4週間後の同じ曜日から接種可能（BCG、ロタウィルス、MR（麻疹・風しん混合）やおたふくかぜなど。）
- ⑤ 不活化ワクチンを接種してから中6日以上が経過していない。※1週間後の同じ曜日から接種可能（ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、インフルエンザやB型肝炎など。）
- ⑥ 以前に、接種液の成分でアナフィラキシー（注1）を起こしたことがある。
- ⑦ 母子感染予防として、出生後にB型肝炎ワクチンを受けたことがある。
- ⑧ 医師が適当でないと判断した。
※①～⑤に該当する場合は、医療機関に行かずに予約の変更（延期）をしてください。

【医師と相談が必要なお子さん】

- ① 心臓血管系、腎臓、肝臓、血液疾患や発育障害などの基礎疾患がある。
- ② 過去の予防接種で2日以内に発熱や全身性発疹などのアレルギーを疑う症状が出たことがある。
- ③ 接種液の成分に対してアレルギーを起こす恐れがある。
- ④ 今までにけいれんの症状を起こしたことがある。
- ⑤ 今までに免疫不全の診断がされている場合や、近親者に先天性免疫不全症の方がいる。
- ⑥ 輸血やガンマグロブリンの注射を受けて3か月以上が経過していない。
※ガンマグロブリンの大量投与を受けた場合には6か月以上
- ⑦ ラテックス過敏症である。（注2）



【副反応と健康被害救済制度】

接種後の副反応は、局所反応として接種した部位の赤み、腫れ、痛み等があります。全身反応としては、発熱や不機嫌等があります。

非常にまれですが、アナフィラキシー（注1）などの重大な副反応があるといわれています。

通常反応のほか何らかの異常（けいれん・高熱など）が強く出た場合には、速やかに医師の診察を受け保健所健康政策課へ連絡してください。

八王子市独自の制度の任意予防接種であるため、万が一、重篤な健康被害が発生して認定された場合は、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法の規定に基づき、健康被害に対する給付が行われます。

（注1）アナフィラキシー：通常接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応のこと。顔が急にはれる、全身にひどいじんましんが出る、息が苦しい、嘔吐などの症状やショック状態になるような、激しい全身反応のこと。

（注2）B型肝炎ワクチンにはビームゲンとヘプタボックスの2種類がありますが、ヘプタボックスにはワクチン容器のゴム栓に乾燥天然ゴム（ラテックス）が含まれています。ラテックス過敏症の方はアレルギー反応があらわれることがあるので、ビームゲンの使用をお勧めします。また、ラテックスと交叉反応のある果物等（バナナ、栗、キウイフルーツ、アボカド、メロン等）にアレルギーがある場合も同様です